

The NEXT

令和5年1月号

https://www.kbkbeauty.jp
www.facebook.com/kbkbeauty

神奈川県美容業生活衛生同業組合発行 ■ 令和5年1月15日 (毎月1回15日発行) ■ 発行人/澤飯廣英・編集人/中野利彦
〒231-0058 横浜市中区弥生町2-15-1 ストックタワー大通り公園Ⅲ202号 TEL (045)261-0131(代表)・FAX (045)250-0144 mail:kbk@kbkbeauty.jp

ともに生きる社会を



神奈川県知事 黒岩祐治

新年、明けましておめでとうござい
ます。

今年、昨年と同様、行動制限のな
い年始を迎えることができました。現
在、新型コロナウイルスは重症化リス
クの低いオミクロン株が主流となっ
ています。また、ワクチンの普及や治療
薬の開発も進んでおり、新型コロナウイルスを
取り巻く環境は変わりつつあります。

こうした中、昨年9月からは全国で
「全数届出の見直し」が実施され新型
コロナ対策は新たな仕組みに移行して
います。この見直しは一般医療とのパ
ランスを取りながら、新型コロナウイルス対
策に取り組んでいく「出口戦略」の第一

歩として重要な意義を持つものです。
今後は、この新たな仕組みの下で、
新型コロナウイルスとの共存を前提に「持続可
能な医療提供体制」を構築していき
たいと考えています。そして、県民、事
業者の皆様のご協力をいただきなが
ら、新型コロナウイルス対策と社会経済活動と
の両立が図られるよう、しっかりと取
り組んでまいります。

また、昨年は、県議会の議決をいた
だき、「神奈川県当事者目線の障害福
祉推進条例」とともに生きる社会を目指
して「」を制定しました。

これまでの障害福祉は、障害者の「安
全のために」という考えで支援が行わ
れてきましたが、それは支援する側の
目線によるものでした。そうではなく
て、本来は当事者の目線に立った支援
が必要なのではないでしょうか。

それが、津久井やまゆり園事件から
始まった「ともに生きる社会」を目指
す流れの中で、私たちがたどり着いた
結論でした。そして、県議会で全会一
致で条例が成立したことは、障害福祉
の世界においても、また県政運営にお
いても歴史的な出来事だったと思っ
ています。しかし、条例制定はゴールで
はありません。ここからがスタートで
す。今後は、この条例の内容を県民の
皆様と共有するとともに、実効性のあ
る取組を推進してまいります。

この条例を礎に、障害者も含めた県
民、事業者、行政が連携し、一体とな
った取組を展開することで「ともに生
きる社会」が実現するにつな
げていきたいと考えています。このほ
か脱炭素社会の実現、人口減少下にお
ける次世代育成など、様々な課題にも
取り組んでいかなければなりません。

「I」で「呼び込む経営」を



KBK理事長 澤飯廣英

新年、あけましておめでとうござい
ます。

会員の皆様をはじめ関係各位には、
新たな年をお迎えのこととお慶び申し
上げます。昨年はコロナ禍ではありま
したが、様々な事業にご理解とご協力
を賜り誠に有難うございました。心よ
り感謝申し上げます。

また三年間に渡るコロナの影響は、
世界経済はもとより日本経済にも大き

な影響を及ぼしております。そして美
容業界にも、その影響は重くのし掛か
っております。この時期こそ、皆様と
手を取り合い前を向いて進みたいと思
っております。

昨年の様々な事業には参加者が少な
く残念に感じております。そこにはコ
ロナに対する恐怖や、人間の価値観に
対する意識が大きく変化したように感
じております。

今年こそは、多くの事業に喜んで参
加してもらえらる内容の企画を立てたい
と考えております。会員の皆様の参加
が成功への道に繋がると思っています。

時代の変化が速く、Iを中心とし
た社会の構築が進んでおります。サロ

ンにおける集客や管理は、SNS等を
駆使した方法が既に実践化されており
ます。組合においてもデジタル委員会
を創設し、少しでも時代の先取りがで
きるように努力を重ねて参ります。組
合が発行している機関紙や、全美連が
発行している「ZENBI」には、業
界の情報が掲載されております。ぜひ
購買されて経営に役立てて頂きたいと
願っております。「待つ経営」から「呼
び込む経営」にいかにか切り替えるかが
問われております。社会全体がI社
会に変化していく中で、取り残されな
いように生きていかななくてはなりません。

今年こそは、多くの事業に喜んで参
加してもらえらる内容の企画を立てたい
と考えております。会員の皆様の参加
が成功への道に繋がると思っています。

時代の変化が速く、Iを中心とし
た社会の構築が進んでおります。サロ

ンにおける集客や管理は、SNS等を
駆使した方法が既に実践化されており
ます。組合においてもデジタル委員会
を創設し、少しでも時代の先取りがで
きるように努力を重ねて参ります。組
合が発行している機関紙や、全美連が
発行している「ZENBI」には、業
界の情報が掲載されております。ぜひ
購買されて経営に役立てて頂きたいと
願っております。「待つ経営」から「呼
び込む経営」にいかにか切り替えるかが
問われております。社会全体がI社
会に変化していく中で、取り残されな
いように生きていかななくてはなりません。

迎春 今年も力を合わせて 卯年元旦
がんばりましょう! KBK

交流を徐々に増やしたい
モチベーションを上げて



県講師会会長 後藤雅紀

新年明けましておめで
とございます。

私も創作委員として参加
してきましたが、久しぶ
りに各県の方とお会い
きて、やはり直接コミュ
ニケーションが取れると
いうことは、人として非
常に重要なことだと再

認識した次第です。

コロナも重篤化は少な
くなりりましたが、まだ新
規感染者は大勢いるとい
う微妙な状態で、国とし
てもどう扱うか決めかね
ている様な時期ですが、
いつまでも穴倉にこもっ
ていては人としての大切
な部分を無くしてしまう
ような気がして、今年は
3月のフェローシップツ
アーを足掛かりに、皆さ
んとの交流を徐々に増や
していこうと思えます。

これからも皆さんの役
に立つモチベーションを
上げられるような企画運
営をしていきたいと思
います。今年も宜しくお願
いいたします。

感謝をこめて...

N-100 Series

100th ANNIVERSARY CHAIR

mine

美しい人生を、かなえよう。

TAKARA BELMONT

www.tb-net.jp お客様センター ☎0120-596348

musubi

2023 ぴよんと跳ねあがる景気の 良い卯年でありますように 元旦

●福利厚生部長

川内 憲



●教育部長

蓮見 正道



●財政部長

園部 正信



●総務部長

荒井 清隆



●副理事長

菅谷 俊之



(経営企画部長兼任)

●副理事長

中野 利彦



(組織広報部長兼任)

●理事長

澤飯 廣英



常任理事

横濱ブロック
川崎ブロック
川崎多摩
横須賀中央
横須賀南
鎌 逗 葉
足 柄 上
秦 野
厚 木
相 模 原
相 模 原
大 和
NEXT倶楽部

白 水 秀 毅
中 田 浩 司
松 尾 純 一
菅 谷 俊 之
山 本 政 幸

ブロック長

山本久美子(湘南)
眞壁 正人(湘南)
田崎 義謹(川崎)
佐藤 嘉恵(湘南)

支 部 長
副 支 部 長
会 計 部 長
副 会 計 部 長
厚 生 部 長
教 育 部 長

栗 屋 光 政
箕 井 蓉 子
猪 越 路 子
船 津 玲 珠
大 瀬 正 子
小 泉 智 子

山手支部

支 部 長
副 支 部 長
財 務 部 長
教 育 部 長
厚 生 部 長

村 田 禎 爾
斉 藤 正 夫
山 本 和 代
保 田 繁 美
井 戸 川 眞 澄

相談役

監 査 役
監 査 役
監 査 役

原 裕 之
本 多 け い 子
河 野 弘 子
安 川 喜 美 枝
広 瀬 行 恵
加 山 二 郎

監事

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

土 屋 肇
大 野 照 子
三 浦 志 津 子
高 橋 正 人
野 上 理 恵 子

星 谷 正 嵩
山 本 政 幸
梶 原 公 和
八 木 保 信
葉 山 喜 義
石 塚 良 子
勝 俣 和 樹
高 橋 勉
木 浪 雄 吉
松 尾 純 一
鈴 木 健 一
中 田 浩 司
遊 馬 知 子
澤 山 信 太 郎
白 水 秀 毅
鹿 島 保 子
村 田 禎 爾

監 査 役
監 査 役
監 査 役
監 査 役
監 査 役
監 査 役

相 原 新 祐
白 尾 睦 美
高 木 秀 子
恋 塚 富 子
駒 場 和 恵
馬 場 都
下 野 京 子

鶴見第二支部

支 部 長
副 支 部 長
財 務 部 長
教 育 部 長
福 利 厚 生 部 長

支 部 長
副 支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

下 野 京 子
佐 藤 一 枝
中 村 ま ゆ み
塩 澤 ヨ シ 子
佐 藤 一 枝
島 田 良 二
安 里 好 美
坂 田 キ サ 子

理事

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

北 原 は る み
橋 本 節 子

横浜ブロック

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

村 石 正 子
小 野 塚 和 男
佐 藤 文 子
中 川 由 利 子
金 子 佳 子
小 野 塚 和 男
力 丸 幸 子
佐 藤 文 子
高 木 静 子
佃 嘉 子

横浜中央支部

支 部 長
副 支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

清 宮 良 子
堀 越 亘
齊 光 悦
齊 光 悦
岡 田 祐 子
瀨 川 康 之
澤 飯 廣 英
小 出 ま す み
田 中 眞 樹

南協同支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

永 谷 澄 子

港南支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

石 川 泰 行
鹿 島 保 子
加 藤 要 子
加 藤 要 子
岩 橋 寿 子
長 田 実
相 川 勝 美

金沢支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

土 屋 肇
藤 谷 恵 一
藤 田 大 浦
藤 田 弘 子

戸塚支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

藤 谷 恵 一
藤 田 大 浦
藤 田 弘 子

港北支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

塚 原 太 一 朗
佐 渡 紳
伊 藤 り 子

緑支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

中 野 利 彦
田 島 修 蔵
荒 井 清 隆
白 須 里 美
石 渡 和 史
中 村 芳 枝

泉支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

齊 藤 雅 文
齊 藤 勇 記
後 藤 泰 子
加 納 千 鶴 子

栄支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

藤 田 大 浦
藤 田 弘 子

青葉支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

勝 又 美 明
上 條 治
小 松 広 明

瀬谷支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

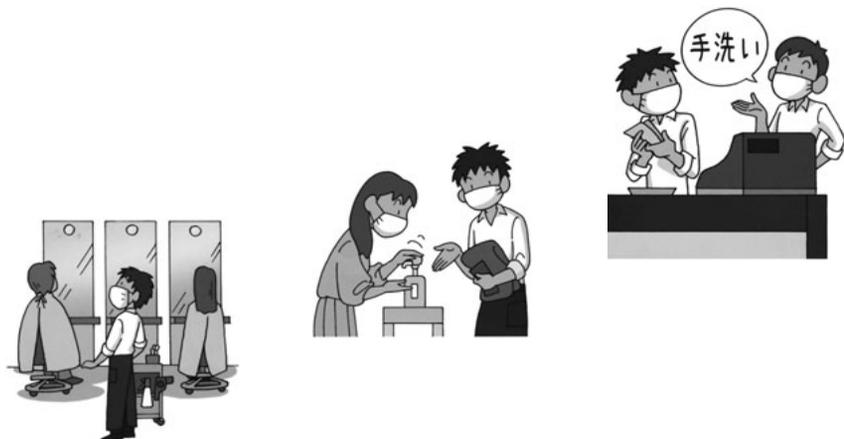
藤 田 大 浦
藤 田 弘 子

栄支部

支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長
支 部 長

藤 田 大 浦
藤 田 弘 子

コロナ第8派に備えて 気の緩みに注意しよう



全国生衛指導センターのパンフレットから

旭支部

支部長 増田 嘉夫
 副支部長 中屋 敦子
 兼 総務 小林 洋一郎
 兼 広報 菅沼美砂子
 兼 厚生 田村 慶光
 兼 渉外 澤山信太郎
 兼 渉外 山田 義文
 兼 渉外 佐々木好子
 相 談 役 山田 義文

上大岡支部

支部長 小牧 則子
 副支部長 山口 秀勝
 支部長 山口 弘昌
 副支部長 菊池 明美
 支部長 岡村 祐造
 支部長 富山 慶子
 支部長 高山 理子
 支部長 清水ひろ子

川崎ブロック

支部長 田口 美香
 副支部長 山田和賀子
 支部長 星谷 純子
 支部長 小林 敏晴
 支部長 松本 勝代
 支部長 星谷 正嵩
 支部長 遊馬 知子
 支部長 山田和賀子
 支部長 安西 信吉
 支部長 松本 勝代
 支部長 安西 信吉

川崎宮前支部

支部長 本間けい子
 副支部長 加藤 玲子
 兼 総務 戸塚 貴博
 兼 教育・福利厚生 山田 光代
 兼 教育・福利厚生 山田 千鶴
 兼 教育・福利厚生 西村 岩雄
 兼 教育・福利厚生 本間けい子
 兼 教育・福利厚生 戸塚 貴博

足柄上支部

支部長 勝俣 和樹
 副支部長 須藤 秀明
 兼 総務 日下部美智子
 兼 厚生 白井扶美子
 兼 厚生 朝柴 末子
 兼 厚生 重富ますみ

厚木支部

支部長 瀬戸 伸一
 副支部長 渡来 昇
 副支部長 小橋テル子
 副支部長 瀬戸 伸一
 副支部長 葉山 喜義
 副支部長 遠藤三重子
 副支部長 高橋 直美
 副支部長 原 勇
 副支部長 大矢 安子

大和支部

支部長 菊地 悦子
 副支部長 引地 和隆
 兼 総務 野上理恵子
 兼 総務 渡邊 雄巳
 兼 総務 平林 善子
 兼 総務 坪井美登利
 兼 総務 大山 涼子

泉南ブロック



横須賀中央支部

支部長 松尾 純一
 相 談 役 三塚 澄子
 兼 総務 金子 京子
 兼 厚生 橋本 謙二
 兼 厚生 新倉みち代
 兼 厚生 山口 英明
 兼 厚生 柳原 育子

三浦支部

支部長 藤井まゆみ
 副支部長 杉野 房枝
 副支部長 杉野 正子

鎌逗葉支部

支部長 上田スエ子
 支部長 高橋 勉

横須賀南支部

支部長 木浪 雄吉
 支部長 藤崎 英介
 支部長 畑 るみ子
 支部長 茅花 泰子

横須賀北支部

支部長 阿部 義浩
 支部長 石渡 常雄
 支部長 山下みゆき
 支部長 今井紀美代
 支部長 笹川みはる



川崎田島支部

支部長 田口 美香
 副支部長 山田和賀子
 支部長 星谷 純子
 支部長 小林 敏晴
 支部長 松本 勝代
 支部長 星谷 正嵩
 支部長 遊馬 知子
 支部長 山田和賀子
 支部長 安西 信吉
 支部長 松本 勝代
 支部長 安西 信吉
 支部長 松本 勝代
 支部長 安西 信吉
 支部長 松本 勝代
 支部長 安西 信吉

川崎大師支部

支部長 大野 照子
 副支部長 山崎 麻美
 支部長 中三川さよ子
 支部長 齊藤 廣子
 支部長 星川スエ子
 支部長 勝亦真由美
 支部長 大野 照子
 支部長 平澤 浩

川崎幸支部

支部長 榎本かつ子
 副支部長 釜澤 正俊
 副支部長 渡部 りつ
 支部長 小林三江子
 支部長 奥山 清栄
 支部長 佐藤かつ子
 支部長 小山田 章
 支部長 渡部 りつ
 支部長 佐藤かつ子
 支部長 古賀 洋男
 支部長 釜澤 正俊
 支部長 渡辺 淳一

川崎中央支部

支部長 小野寺かつよ
 支部長 星 文字
 支部長 河田 千晴

川崎中原支部

支部長 中田 浩司
 副支部長 播磨 渉
 支部長 中田 浩司
 支部長 川又 浩美
 支部長 渡部 一子
 支部長 山本健太郎
 支部長 佐藤 圭治
 支部長 村上 文行
 支部長 村尾 育子
 支部長 中尾 徳能
 支部長 原 千波

川崎高津支部

支部長 安部 幸代
 支部長 安部 幸代
 支部長 田崎 義謹
 支部長 山中 純子
 支部長 高橋 雅志
 支部長 藤田啓太郎
 支部長 山中 純子
 支部長 安池佳余子

湘南ブロック

藤沢支部

支部長 菅谷 俊之
 支部長 丸山 準
 支部長 林 俊己
 支部長 海老名千恵子
 支部長 大崎千鶴子
 支部長 稲垣 一重
 支部長 小川みち子
 支部長 南雲 和子

茅ヶ崎支部

支部長 川内 憲
 支部長 平原紀久枝

川崎麻生支部

支部長 夙野 明美
 副支部長 中村真理子
 副支部長 小倉 清枝
 副支部長 加藤 悦生
 副支部長 近藤由美子
 副支部長 高橋 宏明

川崎多摩支部

支部長 鈴木 健一
 副支部長 矢花 敬
 副支部長 品川カツエ
 副支部長 山田 弘子
 副支部長 蓮見 正道
 副支部長 吉田 稔
 副支部長 若林 実継

秦野支部

支部長 高橋 智洋
 副支部長 小松 重雄
 副支部長 山本久美子
 副支部長 金井 洸
 副支部長 志村由美子
 副支部長 宮地ゆかり

平塚支部

支部長 廣木 義浩
 副支部長 後藤 雅紀
 副支部長 中島 勝信
 副支部長 宮代新太郎
 副支部長 初山 充
 副支部長 井出真太郎

足柄上支部

支部長 勝俣 和樹
 副支部長 須藤 秀明
 兼 総務 日下部美智子
 兼 厚生 白井扶美子
 兼 厚生 朝柴 末子
 兼 厚生 重富ますみ

伊勢原支部

支部長 高橋 正人
 副支部長 笠原 和雄
 副支部長 河野 奨司
 副支部長 石井 寿彦
 副支部長 野崎 春美
 副支部長 坂上富美子
 副支部長 福家 知聖

小田原支部

支部長 鈴木 哲也
 副支部長 古怒田知江子
 副支部長 佐々木由美子
 副支部長 片山 良子
 副支部長 小野寺二十子
 副支部長 長田 敬子

泉北ブロック

厚木支部

支部長 瀬戸 伸一
 副支部長 渡来 昇
 副支部長 小橋テル子
 副支部長 瀬戸 伸一
 副支部長 葉山 喜義
 副支部長 遠藤三重子
 副支部長 高橋 直美
 副支部長 原 勇
 副支部長 大矢 安子

相模原支部

支部長 八木 保信
 副支部長 小松 信行
 副支部長 梶原 公和
 副支部長 吉川 眞弓
 副支部長 川和 信子
 副支部長 金井 真一
 副支部長 工藤 貴士
 副支部長 鈴木かほる
 副支部長 遠藤 勲
 副支部長 鈴木 健之

NEXT倶楽部

支部長 梶原 道彰
 副支部長 栗原 裕輔
 副支部長 星谷 正嵩
 副支部長 坪井美登利
 副支部長 清宮 美乃
 副支部長 後藤 雅紀
 副支部長 中田眞智子
 副支部長 村川 哲也
 副支部長 岡田 祐子
 副支部長 吉永 範明
 副支部長 高野 洋子
 副支部長 引地恵美子

大和支部

支部長 菊地 悦子
 副支部長 引地 和隆
 兼 総務 野上理恵子
 兼 総務 渡邊 雄巳
 兼 総務 平林 善子
 兼 総務 坪井美登利
 兼 総務 大山 涼子

津久井支部

支部長 後藤 一江
 副支部長 中島 正雄
 副支部長 齋藤 作江
 副支部長 棚谷千代江
 副支部長 寺門 文江

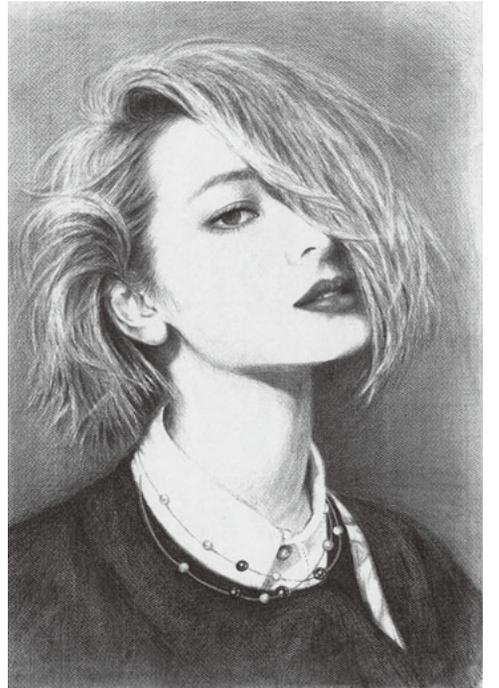
あかね会

支部長 白井 操子
 副支部長 宮本 久江
 副支部長 稲垣 一重
 副支部長 村石 正子



myアート

「美への憧れ」



佐藤かづ子 川崎・モードサロンローゼ

●作品募集 ヘアスタイル画、絵、書、風景、花、ペット、造型作品の写真など。掲載は墨一色。K B K広報部まで随時。

これから集客術とは

常任理事

園部 正信

美容室の集客の方法も時代とともに変化しています。チラシやポスティング、DMからフリーペーパー、ホームページやブログの検索、ホットペーパービューティーなど美容系ポータルサイト。そして現在、多くの美容室が利用しているのはSNSです。ソーシャルネットワークサービスの略で、会員制交流サイトと表現します。



園部常任理事

情報が出来、基本無料なので利用する人は世界中で増えています。

人気SNSサービスにはFacebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)、Instagram(インスタグラム)、YouTube(ユーチューブ)

美容SNS、ITデジタル技術

お店の情報に興味ある人からアクションがあるので、宣伝や集客、物販に効果的です。経費削減にもつながりますので、多くの企業や個人が利用しています。最近ではカ

NEXT倶楽部

今年も活動を進めます

一段と寒くなり、またコロナの影響を受けやすい季節になって来ました。年末の来客数にも少なからず関係しているのではないのでしょうか。適切な対処を図る事でどうか防げたと思います。歳末は書き入れ時であるからこそ今まで通り油断せず共に耐え抜いた事でしょうね。

美容業界においては、先日の青年部関東ブロック会議での報告によりますと、各県少しずつながら動きが出て来ている様子であり、また大人数を想定されたイベント、パシフィコ横浜でのTWBCなども盛況さが見てくれました。

ヘアショー、新しい機器の展示や販売、商材の紹介やセミナーなど、幅広い内容を網羅したイベントに幅広い世代の美容師が数多く見受けられました。色々な角度からの切り口は、来会者の興味を引く一因になると改めて参考になりました。NEXT倶楽部の規模では、まだまだ不可能ではありますが、イベントとしての好例は、目標とする学びに繋がっています。

現在のNEXT倶楽部ではチューブリサイクル活動を中心に、11月にも5箱をリサイクルとして発送させて頂きました。これも皆様のご協力の賜物であります。これからも引き続きどうぞ協力をお願い申し上げます。

年明けからも新しい企画の立案を並行して活動を進めて参ります。これらの記事で忘年会、旅行企画などの報告も掲載予定です。今年もNEXT倶楽部をよろしく願いいたします。(梶原道彰)



④カラーチューブリサイクル①TWBCのイベント

組合加入 (12月15日まで)

- ▽戸塚支部 中村江里子 (enu)
- ▽川崎中原支部 今井貴裕 (彩)

1月1日現在組合員1411名

おくやみ (12月15日まで)

- ▽西支部 宮本勝代様ご主人

このたび行われた第46回美容師国家試験で、2145人の新しい美容師が誕生しました。合格率は昨年比0.4上昇。

- ▽受験者 3548
- ▽合格者 2145
- ▽合格率 60.5%

ブ、LINE(ライン)等があり、画像や動画、コメントなどリアルタイムで投稿して、フォロワー数(登録数)が多ければ多いほど、情報が拡散される仕組みです。スマホやパソコン、タブレットで好きな時に見

習得は経営者に必須 現在、日本経済はコロナウイルスやウクライナ情勢の影響で不安定な時期にあり、何もしなければ業績が向上しなくなる事は無いと思えます。情報収集、顧客管理や経理、



着付け/12月6日



アップスタイル/11月29日



カット/12月13日

●アップスタイルコース
11月29日・12月20日。
指導員は金子京子、清宮美乃、鈴木薫、秋元英明の4名。全6回コースで最終の6回目は令和5年2月7日、K B K研修スタジオ。

●着付けコース12月6日。
指導員は中田眞智子、木村洋子、中野尚子、三浦志津子、三塚澄子、山本明美、引地恵美子、若林伊都子。全6回コースで次回は令和5年1月24日、最終の6回目は2月14日、K B K研修スタジオ。

●カットコース
12月13日。
指導員は村川哲也、大塚順子、吉永範明、粉山充、久保寺有紀の5名。全6回コースで最終の6回目は令和5年1月31日、K B K研修スタジオ。

昨年9月から始まったK B Kビューティーアカデミー3コースの研修が、いよいよ終盤を迎えます。

アカデミー追い込み

カット・アップ・着付け

東京海上日動 K B K 団体総合生活保険 10% 団体割引

(所得補償・がん補償、介護補償、個人賠償)

介護を続けながらお仕事をするために...
自分だけでなく親のために今から準備されてはいかがでしょうか?
2024年～全国民の3人に1人が65歳以上に。

bkb.seagullagt.net

インターネット(スマホ)でも加入できます。
組合員のご家族、従業員の方もご利用いただけます。

東京海上日動 代理店 シーガル 0120-041-149

「このチラシは団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。」

2022年6月作成: 22-T00885